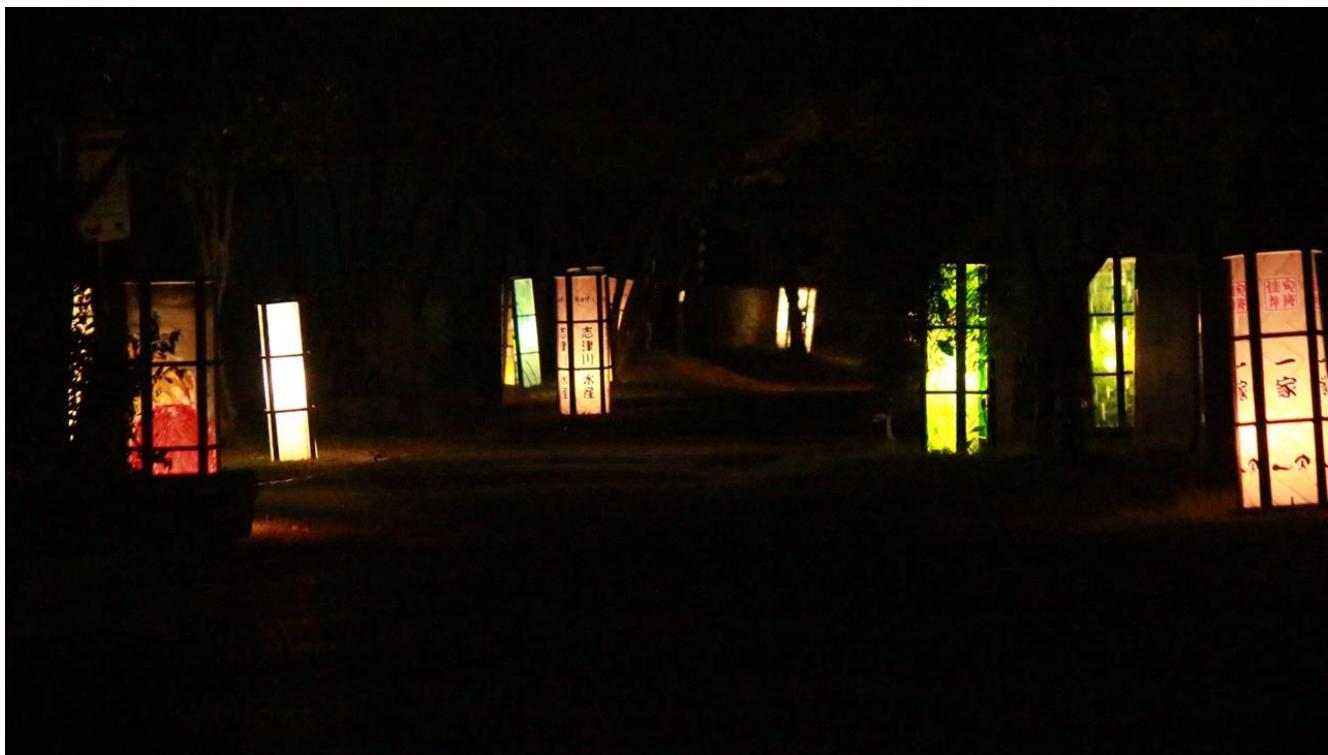
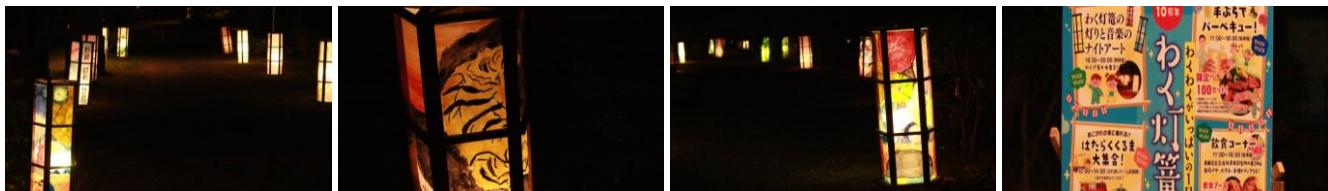


主催：亀田商工会議所青年部



亀田排水路公園



「わく灯籠」で地域振興の一助

亀田郷はかつて低湿で洪水も多く芦沼と呼ばれるほど湛水地帯であり、先人達はこの厳しい環境の中、農作業にも耐え、水との闘いを嘗々と続けながら地域を守ってきました。この過酷な中にあっても、前向きに生き、素晴らしい地域文化も残してくれた先人達の努力を忘れず、人と自然が共生していくこと——その重要性を平凡な時間の流れの中で風化させないよう

「わく灯籠」と称して当時の農具「田植え枠」を再利用し、そこに新たな魅力として灯りを宿す事。そうすることで、水と土により育まれた歴史や文化を再認識するとともに江南区の新たな地域資源のシンボルとして、住民や近郊の人々に広く伝えることを目的として開催しました。今年もわく灯籠の絵描きを亀田地域の小中学生にも依頼したところ「来年も絵描きに参加したい」との感想があった。ただ並べるだけでなく「田植え枠」と「わく灯籠」の説明看板を今年も設置しま

した。それにより、ただ灯りを見るだけでなく、灯りと共に先人達の努力や文化を風化させずに伝えられたと思います。また、亀田地域の各施設（江南区役所、財団法人亀田郷地域センター、江南区社会福祉協議会）とわく灯籠の周知と地域活性化を目的としたわく灯籠まつりを今年も開催しました。

農業を行うには厳しい環境だった亀田地域でしたが、先人たちの努力により現在の亀田地域があります。その伝統を風化させないように、現代風にアレンジしたわく灯籠などを制作し、これからも伝えていきたいと考えております。そして、江南区の産業としてわく灯籠を定着させ、夏の風物詩としてみた人の記憶に残るような灯りを灯し、「わく灯籠」で地域振興の一助となるよう活動していきたいと考えています。

- 7月30日(月)～8月31日(金) 展示（亀田駅構内・東口・西口、亀田排水路公園、亀田本町商店街）
- 8月25日(土) 展示（亀田本町商店街(かめだ祭り甚句流し)）